

17-3-(?)

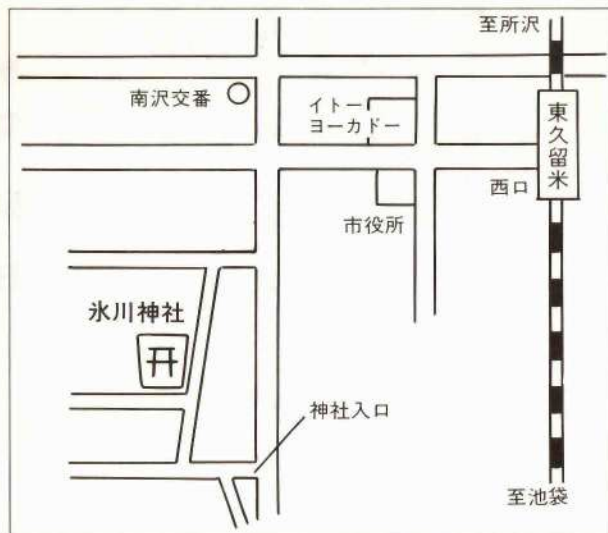


緑と湧水の里

東久留米総鎮守

**南沢氷川神社**

参詣桒



### ● 兼務神社

八幡町 八幡神社  
小山 子ノ神社  
浅間町 浅間神社  
南町 神明社  
中央町 神明社  
清瀬竹丘 浅間神社

下里 氷川神社  
氷川台 氷川神社  
神宝町 氷川神社  
柳窪 天神社  
金山町 巖島神社

東京都東久留米市南沢三―五―八

**南沢氷川神社社務所**

電話 (〇四二四) 七一―一五四二

FAX (〇四二四) 七五―九四一六

受付時間 (午前九時―午後五時)

### ● 各種祈禱

当社では、社務所で各種の祈禱を受付け御神札、守札も頒布しております。

お宮参り・七五三・厄除・車祓・家内安全・商売繁昌・社運隆昌・結婚式

工事安全・除災招福・学業成就・病氣平癒等

### ● 出張祭典

地鎮祭・竣工式・家祓・神棚祓・神葬祭等

(お電話でお問い合わせ下さい。)

神社ホームページ

<http://www.hikawa-jinja.jp>

## ●御祭神

素戔鳴尊すさのみのみこと

櫛稲田姫命くしいなひめのみこと

大己貴命おおのちかのみこと

## ●由緒

当社は落合川上流にて、数ヶ所の湧水群をもつ「沢頭」の水源地にあつて、古代より湧水守護神として奉祀されていましたが、部落の開発に伴い、流水を出雲「簸の川」の故事にならい、河川を疎通して氷川神社を創立したものと伝えられています。

建立年月日は詳かではありませんが、当社保存の上棟札によれば、承応三年（一六五四年）甲午二月十五日徳川家の重臣久世大和守、地頭神谷与七郎、全峰屋半之丞等の助力を得て、南沢村、田無村、入間村、下新井村の総氏子中によつて再建がなされたことが記録されています。

氷川神社は明治初年村社に昇格し、神饌幣帛料指定神社となつて以来、大祭には供進使の参向があり、湯の花神楽や獅子舞行事、疫病祓の夏祭など多彩な神賑祭礼が行われて来しました。

昭和十二年社殿の狭小と腐朽のため改築計画を立てましたが、先の大東亜戦に遭遇し、一時中止致しました。その後、氏子及特志者の熱心な協力が実り、昭和二十五年四月竣工したものであります。

昭和四十四年三月十八日不慮の火災にあい、社殿を焼失し、再度氏子特志者より協賛を得て、昭和四十六年四月莊嚴華麗な新社殿の完成を見たのであります。昭和五十九年一月社務所を新築し境内整備を進め現在に至っております。

## ●御祭日

|         |          |
|---------|----------|
| 元旦祭     | 一月一日     |
| 祈年祭     | 二月二十五日   |
| 例祭      | 四月八日     |
| 夏越大祓    | 六月三十日    |
| 夏祭(天王祭) | 七月十五日    |
| 秋祭(獅子祭) | 十月十五日    |
| 七五三祭    | 十一月十五日   |
| 新嘗祭     | 十一月二十三日  |
| 師走大祓    | 十二月三十一日  |
| 月次祭     | 毎月一日、十五日 |

## ●境内末社

|      |     |        |
|------|-----|--------|
| 大神宮  | 御祭神 | 天照皇大神  |
| 稲荷神社 | 御祭神 | 豊宇計比咩命 |
| 八雲神社 | 御祭神 | 午頭天王   |
| 稲荷神社 | 御祭神 | 宇賀魂神   |

## ●社宝

〈東久留米市指定有形文化財〉

・上棟札 一枚 承応三年（一六五四年）二月社殿再建の棟札で「新編武蔵風土記」に登載されています。

・加藤清正虎退治絵馬 文政四年（一八二一年）八月奉納

東久留米市内では年記の明確な最も古い絵馬。美術的にもすぐれ、江戸時代の文化を知る上で貴重なものです。

## ●南沢獅子舞

〈東久留米市指定無形民俗文化財〉

江戸時代より南沢に居住する氏子の長男に伝えて来た芸能で、五穀豊穡の年に行い、神に感謝の舞を奉納し祝う祭であります。

獅子頭は「竜頭」で、特に勇壮な態は近在に見られないものがあり、笛や太鼓に合せ、女獅子を廻つて二頭の男獅子が踊り狂う場面があります。獅子舞の外に、山の神、太刀使、世流布、神楽、万歳などが加わつて賑わいを呈します。

神社で歌う獅子歌に次の歌があります。

此の獅子は伊勢で生れて江戸そたち

腰に刺したる伊勢のお被い

千早振る神の囀垣に松を植え

松諸ともに氏子繁昌

